



第91回選抜高校野球大会(3月23日から17日間・甲子園)に、2018年10月の秋季東北大会を制した八学光星の出場が確実視されている。1月に行われる選考委員会で出場校に選出されれば、3年ぶり10度目のセンバツ出場、2季連続の甲子園となる。ナインたちは東北勢懸念の「全国制覇」に挑む。

18年夏の甲子園から約2ヵ月後の同10月18日、新生八学光星ナインが、東北の頂点に輝いた。切れ目のない打線と、投手中心にした攻撃。仲井宗基監督は新チームを「スター選手はいないが、全員で勝とうという一体感がある」と評価する。夏の甲子園を経験した主将武岡龍世、下山昂大らが中心を担っていることも大きいという。

(里村静)

# いざ全国の頂

## 光星 3年ぶりセンバツへ



秋季東北大会の決勝戦で盛岡大付を下して優勝し、応援団の待つスタンドへ駆け寄る八学光星ナイン  
 =2018年10月18日、秋田市こまちスタジアム

センバツで、東北初の全国制覇を狙う光星ナイン。エースナンバーを背負う後藤丈海、昨夏から主力として活躍し、秋以降は三塁手と投手の「二刀流」。も披露した下山昂大の2人に意気込みを聞いた。



下山昂大

### ホームラン打つ

明治神宮大会準々決勝では先発を任されたが、うまくリズムをつくれずがない思いをした。打席でもここ一番で打つことができなかつたので、打撃練習では一球一球試合のつもりでバットを振った。

夏の甲子園ではベンチ入りできず、選手として戻ってようとう心に決めて練習に励んできた。明治神宮大会では、強化してきた制球力が全国で通用するかどうか手応えを感じたが、それだけでは勝つ

### 後藤丈海

進んでいけないと分かった。直球の強さ、ピッチの場面を二振りで抑える力がまだ未だ定まっていない。冬の間に球速100アップが目標。自分が中となり、チーム全体の力の底上げを図りたい。

### 球速10キロ増目標



後藤丈海

#### 新チームのこれまでの戦績

大会名	回戦	スコア	対戦校
秋季県大会 (2018年9月・弘前市はるか夢球場ほか)	2	9-2	八戸西
	準々決勝	10-0	弘前工
	準決勝	17-1	青森山田
	決勝	5-4	弘前東
3年ぶり16度目の優勝			
秋季東北大会 (10月・秋田市こまちスタジアムほか)	2	9-2	専大北上(岩手)
	準々決勝	3-2	羽黒(山形)
	準決勝	7-3	花巻東(岩手)
	決勝	5-3	盛岡大付(岩手)
5年ぶり5度目の優勝			
明治神宮大会 (11月・東京都明治神宮球場)	1	7-3	東邦(愛知)
	準々決勝	6-9	高松商(香川)